

難病・在宅人工呼吸器使用者における “災害に強い” 難病地域支援ネットワークの構築

開催の趣旨

「大阪府北部地震」「平成30年7月豪雨」「台風」「平成30年北海道胆振東部地震」と本年は多くの災害を経験しています。

本セミナーでは、今夏の災害に学び、難病患者(在宅人工呼吸器使用者を含む)の災害・緊急時における難病地域支援ネットワークの構築と拡充をめざします。経験者や専門家による講演と意見交換、人工換気療法関連機器展示とデモンストレーションなど内容も充実しています。皆様のご参加をお待ちしています。

プログラム

10:15-10:20 開会挨拶 **研究代表者 小森 哲夫**(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター)
10:20-10:30 ご挨拶 **厚労省難病対策課**

平成30年 **12月8日(土)**
10:15~15:40

AP 品川 9階
(品川駅西口より徒歩3分)

【対象】 在宅難病療養者支援に携わる医療、保健、福祉関連職、ならびに都道府県・市区町村等自治体職員

【定員】 150名(予定) **参加費無料**

<セッション1> 災害と地域支援ネットワーク

●座長：**小森 哲夫**(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター) **小倉 朗子**(東京都医学総合研究所)
10:30-10:50 豪雨災害時に起こったことと保健活動 **榎谷 優**(倉敷市保健所)
10:50-11:10 北海道胆振東部地震時に起こったことと保健活動 **水野 早矢香**(札幌市保健福祉局保健所)
11:10-11:30 災害対策本部と医療・介護連携 **山村 修**(福井大学)
11:30-12:00 質疑・全体討論

<昼食・ミニワークショップ> 災害時における在宅人工呼吸器使用者への支援対策

《12:00-13:20 昼食・休憩》
●座長：**阿部 達哉**(国立病院機構箱根病院神経筋・難病医療センター)
12:30-12:45 停電時における人工呼吸器等の電源確保と対策 **滝口 尚子**(国立病院機構仙台西多賀病院)
12:45-13:00 安全な移送・搬送について **大竹 しのぶ**(練馬区医師会訪問看護ステーション、都医学研協力研究員)

<セッション2> 災害時における医療機関の役割

●座長：**溝口 功一**(国立病院機構静岡医療センター) **宮地 隆史**(国立病院機構柳井医療センター)
13:20-13:40 災害医療拠点病院・難病医療拠点病院において生じた状況 **鳥居 剛**(国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター)
13:40-14:00 日本神経学会が取り組む災害対策＝マニュアルとリエゾン＝ **中根 俊成**(熊本大学)
14:00-14:20 難病患者と災害対策－医療機関の役割－ **溝口 功一**(国立病院機構静岡医療センター)
14:20-14:30 台風避難入院に関する沖縄での取り組み2018 **諏訪園 秀吾**(国立病院機構沖縄病院)
14:30-14:45 休憩(コーヒープレイク)
14:45-15:30 全体討論・まとめ **指定発言 西澤 正豊**(新潟大学脳研究所)
15:30-15:40 閉会挨拶 **研究代表者 小森 哲夫**

<機器展示・デモンストレーション> 12:00-15:30

協力：現在交渉中

申込方法

厚生労働省難病患者の支援体制に関する研究班 HP (<http://nanbyo-kenkyu.umin.jp>)より受付しております。
申込み締切り：11月30日(金)